

会長あいさつ



南アルプス市自治会連合会
会長 齊藤 和樹

新型コロナウイルスが私たちの市民生活を一変させてから早くも二回目の春を迎えておりますが、皆様には自治会活動に対して変わらぬご理解ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、平成25年度に従前の「区長会連合会」を再編成してスタートした自治会連合会ですが、その運営を担っている常任理事会におきましては地域の第一線にある自治会役員の活動の支援や条件整備を基本的な使命としながら、順次その時々課題解決に向けた取り組みを進めて参りました。

そうした中、今般、現常任理事による3つの専門委員会が設定したテーマの調査研究結果がまとまり、「活動報告書」として南アルプス市当局等に要望、提言を行いましたので、本号によりその概要を紹介させていただきます。

自治会連合会では今後ともこうした活動を積み重ねることにより、地域共通の利益が少しでも促進されるようよう微力ながら努めてまいりますので、引き続きご協力の程よろしくお願い申し上げます。

南アルプス市自治会連合会総会

令和2年度南アルプス市自治会連合会総会は、5月26日（火）に開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、書面表決で行いました。

市内に86ある自治会のうち、9割を超える新旧役員の皆さまからご回答をいただき、令和2年度の自治会連合会の活動等、すべての議案が承認されました。

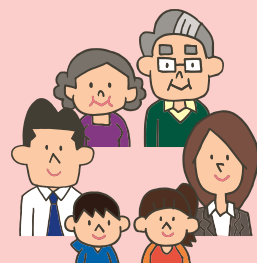
自治会
トピックス!!

自治会の活動を紹介します。

「区・組」加入促進について

区では自治会加入促進リーフレットを作成し、自治会役員が転入者宅を訪問しています。最近、転入や転居で居住する方が多くなってきたことから、改めて区民に地域活動への理解と相互の協力依頼について通知を回覧しました。

多くの方に自治会に加入していただき、区が活性化されることを期待して、引き続き加入促進に取り組んでいきたいと思っております。



「災害時における避難所開設」について

自治会役員が毎年変わる中、いざという時の避難所開設について、役員が理解していないことから、市の防災担当者を講師に迎え勉強会を行いました。

新型コロナウイルス感染症の環境下における避難要領を中心に学び、レイアウトに基づき、避難所の入り口に事前受付所を設置しました。

事前受付では、手指消毒・検温及び体調を確認し、具合が悪い人が来た場合を想定して、専用スペースに誘導する流れを確認しました。コロナ禍により自治会活動の展開が難しいところですが、今後も計画的に訓練を行っていきたく思います。



専門委員会の活動報告書をまとめ 市と自治会へ要望・提言します

南アルプス市自治会連合会常任理事会（第4期）では、令和元・2年度の2年間の任期の中で、3つの専門委員会に分かれて、自治会の抱える課題について調査・研究に取り組みました。自治会長へのアンケート調査などから得られた意見に、委員自身のこれまでの経験を交え、今後の自治会活動がより豊かになるよう、協議・検討しました。結果は活動報告書として、南アルプス市と自治会に対し次のように要望・提言します。

第1専門委員会

「南アルプス市消防団の在り方に関する政策提言書」

近年災害が多くなり、その必要性が認識されつつも、各地区では消防団員の確保に苦慮しています。アンケートにより現役団員から出された意見を参考に、今後の消防団の活動が充実するように、市や自治会、各種団体・企業に対して、自治会との協力体制確保や団員の負担軽減、消防団の自主性の確立について要請・要望します。



第2専門委員会

「ごみ出しルールの徹底と管理改善について」

自治会では、ごみ集積所の管理をはじめ、ごみ処理には深く関与し、一定の成果をあげつつも、依然として多くの問題を抱えています。その中から、「ごみ出しルールの再周知」、「転入時のごみ処理教育の徹底」の2点についてはチラシを作成し、配布による周知を要望します。また「集積所における防犯カメラの設置の推進」については、不法投棄や不適正排出の防止を目的として、防犯カメラを設置する自治会に対し補助金制度または貸与制度を設けることを要望します。



第3専門委員会

「自治会未加入者の加入促進について」

自治会加入率は年々低下しており、未加入者についても重要な課題の一つとなっています。この問題に対して自治会へアンケート調査し、実情の把握や歴代第3委員会の成果などを確認しました。その結果を返すことにより、出された多くの意見の中から、それぞれの実態に即したものを取捨選択し、今後の自治会の在り方の参考になればと考えます。

